

## 文献を 入手する方法

文献検索の基本

文献の探し方①手づる式

文献の探し方②データベース(日)

文献の探し方③データベース(英)

文献の探し方④新聞記事

文献の入手方法

Web上で無料公開されている情報を見る  
 阪大契約の電子ジャーナルや電子ブックを見る  
 外国学図書館で本を借りる  
 他キャンパスから本を取り寄せる

外国学図書館でコピーする  
 他キャンパスからコピーを取り寄せる

遠方の図書館に行って閲覧する  
 遠方の図書館からコピーを取り寄せる  
 遠方の図書館から本を取り寄せる

古書店、生協書籍店などで購入する



最後は、文献の入手方法についてです。

文献は、電子ジャーナルや電子ブックなどのように、インターネット上で自宅から見られるものもありますが、それは世の中にある情報のごく一部に過ぎません。一部の情報だけで、レポートや卒業論文を書くのは無理がありますし、良いものにもなりません。

皆さんにはぜひ、これから紹介する方法を駆使して、多くの文献を手に入れてほしいと思います。

## 図書館は文献入手をサポートします

### ▶ 文献複写（コピーの取り寄せ）

- 到着まで：3日～1週間程度
- 費用：コピー代（白黒1枚40円～60円くらい）
  - +送料
  - +手数料がかかる場合もある

※著作権法で認められた範囲の複写に限ります。

※複数著者で構成された図書（論文集など）は、一人の著者が担当した部分が一つの著作物に該当すると解釈されるため、担当部分全てのコピーはできません。

#### 著作権法 第三十一条 第一項

- 図書館等の利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するために、公表された著作物の一部分（発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物にあつては、その全部。第三項において同じ。）の複製物を一人につき一部提供する場合

読みたい文献があるけれど、大阪大学では所蔵していない・・・そんなときも図書館はサポートします。

雑誌論文・記事はコピーを取り寄せることができます。ただし、コピー代と送料がかかります。

図書は、著作権法第31条により、全文コピーを取り寄せることができません。全ページの半分以下、であれば取り寄せ可能です。

また、図書の場合は、次で紹介するように、現物を取り寄せて借りることも可能です。

## 図書館は文献入手をサポートします

### ▶ 現物貸借（図書現物の取り寄せ）

- 到着まで：3日～1週間程度
- 貸出期間：到着してから2～3週間程度
- 費用：往復の送料（1,200円～2,000円くらい）  
+手数料がかかる場合もある

※館内利用のみ（自宅への持ち帰り不可）などの条件がつく場合があります。

※雑誌、参考図書、古い資料などは基本的に借りることができません。

#### 利用時の注意事項





- 文献複写や現物貸借は、他大学や他機関との相互協力で成り立っている制度です。借り受けた資料は大切に扱うようお願いします。汚れたり破れたりした場合は弁償となる場合があります。

図書現物は所蔵する大学図書館などから取り寄せることができます。おおよそ2週間から3週間程度、借りて読むことができます。

基本的には、自宅への持ち帰りが可能な条件で取り寄せを手配しますが、所蔵する図書館の方針によっては、外国学図書館内での利用に限定される場合もあります。

図書の取り寄せには往復の送料がかかります。雑誌は現物を借りることができませんので、該当ページのコピーを取り寄せる方法になります。

## 文献複写・現物貸借の申し込み方法

- OPACでヒットした場合  
 現物の取り寄せは 、コピーの取り寄せは  から申し込み可能
- データベースで「大阪大学で本文を探す」アイコンがある場合  
 をクリックして、  
[学外からの文献取寄せ](#) を申し込む  から申し込み可能
- それ以外の場合  
 WebサイトやOPACの「Webサービス」から申し込み可能



文献複写、現物貸借を申し込む場合は、阪大OPAC、「大阪大学で本文を探す」アイコン、附属図書館WebサイトのWebサービスからインターネットで申し込むことができます。

カウンターでは、紙の申込書を用意していますので、相談に来られた際に、その場で申し込むこともできます。

## 図書館は文献入手をサポートします

### ▶ 訪問利用（読みたい資料がある図書館へ行く）

- ▶ 手続き（問い合わせや紹介状作成）には、3日～1週間程度かかります。
- ▶ 早めに外国学図書館へご相談ください。
- ▶ [関西大学](#)、[みんなく図書室](#)は手続きなしに訪問利用が可能です。



つぎに、学内で入手できない資料を、学外の所蔵館へ出向いて閲覧・複写することができる、訪問利用という方法を紹介します。事前の問い合わせや紹介状が必要な大学図書館がありますので、訪問希望日の3日前までに、余裕をもって外国学図書館にお申し込みください。

阪大生の皆さんは、関西大学の図書館は、協定により、事前問い合わせが不要なく、個人で登録すれば貸出が可能です。また、みんなく図書室は、一般に広く公開されている図書室ですので、事前問い合わせは必要ありません。

ただ、いずれの図書館も、利用登録には身分証明書が必要なため、訪問する時にはリンク先の利用案内をよく確認しましょう。

#### 【関西大学】

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/houmon/#kansaiuniv>

#### 【みんなく図書室】

<https://www.minpaku.ac.jp/sharing/library/information/general>

## 大学院生に気軽に相談できます



### ▶ ラーニング・サポーター（LS）

- 学生の皆さんの学びをサポートする大学院生スタッフです
- 図書館3階「るくす」にてお待ちしております
- スケジュールは[こちら](#)をご覧ください
- [オンラインでの学習相談](#)もできます

#### サポート内容

- 学習相談
- レポート作成のアドバイス（原稿の日本語チェックにも対応）
- パソコンの操作法の説明
- 各種ミニ講習会の実施 など

外国学図書館では、大学院生のラーニング・サポーターが、3階るくすで、学生の皆さんの学びをサポートしています。文献の探し方、入手方法が分からない場合には、ラーニング・サポーターにも、お気軽にご相談ください。

【[こちら](#)】（LSスケジュール）

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/gaikoku/ta/#activity>

【[オンラインでの学習相談](#)】学内限定ページ

[https://www.library.osaka-u.ac.jp/gakunai/gaikoku/online\\_ls/](https://www.library.osaka-u.ac.jp/gakunai/gaikoku/online_ls/)

## 箕面市立図書館を使う

### ▶ 箕面市立図書館について

- 箕面市内に7館ある
- 図書館は外国学図書館と[箕面市立船場図書館](#)が一体化したつくりになっていて、2階に箕面市立図書館の資料を配置。資料は[市のOPAC](#)で検索できる。

### ▶ 貸出券の作成について

- 授業や研究のために箕面キャンパスに通学していれば箕面市立図書館の「通勤・通学」区分で貸出券を作成できる
- 学生証と住所が確認できる身分証を持って2階サービスカウンターで申込み

### ▶ 貸出期間、冊数、予約などのサービス

- 貸出期間15日間（1回のみ延長可）
- 貸出冊数は20冊まで
- 予約・取り寄せも可。[箕面市立図書館のWebサービス](#)から申し込める。

キャンパスが位置する箕面市には、大学図書館だけでなく7つの公立図書館があります。

その中で、皆さんにとって一番身近な図書館となるのはおそらく箕面市立船場図書館です。

2021年に開館した箕面キャンパス隣接の図書館は、大阪大学外国学図書館と箕面市立船場図書館が一体化したつくりになっていて、2階に船場図書館の資料が配置されています。

実用書や小説など、大学図書館には所蔵が少ない分野の資料を閲覧できますので、ぜひ足を運んでみてください。

所蔵資料は箕面市図書館のOPACで検索できます。

授業や研究のために箕面キャンパスに通学していれば、皆さんも「通勤・通学」区分として箕面市立図書館の貸出券を作成できます。

学生証と住所が確認できる身分証を持って、2階サービスカウンターでお申込みください。

資料の貸出期間は15日です。次に予約がなく、ほかに借りている本に延滞がない場合には、1回のみ延長できます。

貸出冊数は20冊までです。

貸出中の資料や、他の箕面市図書館に所蔵がある資料については、予約や取り寄せも可能です。図書館2階のサービスカウンターか、箕面市立図書館のWebサービスからお申込みください。

#### 【箕面市立船場図書館】

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/minohsemba/>

【箕面市立図書館 OPAC】

<https://webopac.city.minoh.osaka.jp/opw/OPW/OPWSRCH1.CSP>

【箕面市立図書館 Webサービス】

<https://webopac.city.minoh.osaka.jp/opw/OPW/OPWMAIN.CSP>



## 国立国会図書館を使う

### ▶ 国立国会図書館について

- ▶ 日本で唯一の国立図書館であり、国内最大の蔵書数を誇る
- ▶ 東京本館、国際こども図書館、関西館の3館がある
- ▶ 大阪大学から一番近いのは京都府精華町にある関西館
- ▶ 満18歳以上なら誰でも利用可能だが、個人への貸出サービスはしていない

### ▶ 来館すれば利用できるサービス

- ▶ 所蔵資料の閲覧・複写・相談
- ▶ 豊富な電子ジャーナルやデータベースの利用

### ▶ 遠隔で利用できるサービス

- ▶ 遠隔複写サービス
- ▶ 図書館間貸出し

ここからは、国立国会図書館の使い方を案内します。

大阪大学から一番近い関西館は、大阪市内から1時間半ほどで行ける距離にあり、学術書を中心に220万冊以上、洋雑誌は関西館が主な所蔵館となり、約4万5000タイトルを所蔵しています。ほかに、アジア関係資料と国内博士論文を所蔵しています。

個人への貸し出しサービスは行っていませんが、来館することで利用できるサービスがたくさんあります。電子ジャーナルやデータベースも豊富で、その場でコピーを入手できます。

また、来館しなくても遠隔で利用できるサービスもありますので、次のスライドで詳しく紹介します。

#### 【国立国会図書館】

<https://www.ndl.go.jp/>

#### 【電子ジャーナルやデータベース】

[https://www.ndl.go.jp/jp/use/e\\_journals/index.html](https://www.ndl.go.jp/jp/use/e_journals/index.html)

## 国立国会図書館を使う 遠隔で利用できるサービス

- ▶ 遠隔複写サービス（コピーの取り寄せ）
  - ▶ 申込み方法は2通り
    - ▶ 外国学図書館経由の文献複写サービスで申込み
    - ▶ 「[インターネット限定登録利用者](#)」になって個人で申込み
  - ▶ コピー代、送料がかかる
  
- ▶ 図書館間貸出し（外国学図書館への図書を取り寄せ）
  - ▶ 外国学図書館経由の現物貸借サービスで申込み（個人申込は不可）
  - ▶ 外国学図書館内で閲覧できる、自宅等への持ち帰りは不可
  - ▶ 片道の送料がかかる（1,000円程度）

遠隔で利用できる国立国会図書館のサービスは、遠隔複写サービスと図書館間貸出です。

遠隔複写サービスは国立国会図書館が所蔵する資料のコピーを取り寄せるサービスです。個人でも申し込みが可能です。詳細はリンク先をご覧ください。

図書館間貸出は、国立国会図書館の所蔵図書を外国学図書館に取り寄せ、館内で閲覧できるサービスです。こちらは個人での申し込みはできませんので、外国学図書館のカウンターでお申込みください。

【インターネット限定登録利用者】

<https://www.ndl.go.jp/jp/registration/index.html>

## 国立国会図書館を使う デジタル化された資料を見る

### ▶ 国立国会図書館デジタルコレクション

- 国立国会図書館が収集・保存しているデジタル化資料を公開。  
1968(昭和43)年までに受入れた戦前期・戦後期刊行図書、議会資料、法令資料及び児童書、江戸期以前の和古書、清代以前の漢籍等。

- 公開範囲は三段階

**図書** や **電子書籍・電子雑誌** . . . 「インターネット公開」 誰でも閲覧可。

**国立国会図書館/図書館送信限定** . . . 「図書館送信資料」

総合図書館と外国学図書館の専用PCで  
平日9時-17時に閲覧可。  
印刷は有料で申込みが必要。

**国立国会図書館限定** . . . 「国立国会図書館内限定」

国立国会図書館のPCで閲覧可。  
文献複写での取り寄せも可。

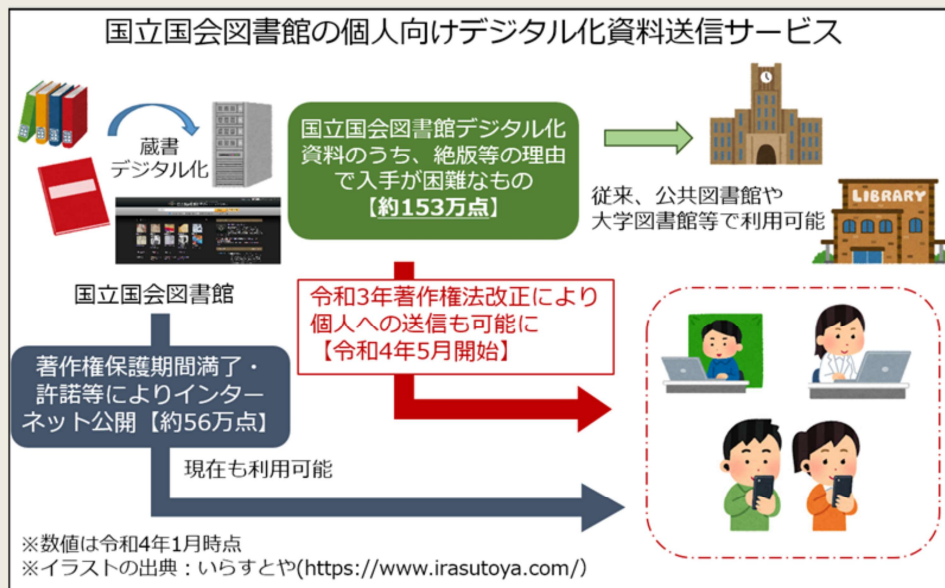
最後に、国立国会図書館がインターネット上で公開している、デジタルコレクションを紹介します。戦前の資料、江戸期以前の和古書、清代以前の漢籍等、著作権の切れた古い資料は公開され、インターネット上で閲覧できる場合が多いです。

誰でも閲覧可能なインターネット公開の資料、  
外国学図書館の専用パソコンで閲覧可能な図書館送信限定の資料、  
国立国会図書館でのみ閲覧可能な資料の3種類の公開範囲があります。  
限定資料であっても、検索自体は自宅からでもできますので、ぜひ調べてみましょう。

【国立国会図書館デジタルコレクション】

<https://dl.ndl.go.jp/>

## 国立国会図書館を使う 個人向けデジタル化資料送信サービス



(参考) [「個人向けデジタル化資料送信サービス」の開始について](#)

また、令和4年5月19日から新たなサービスとして、今までインターネット公開されていなかった資料も国立国会図書館の「個人の登録利用者」になればご自身の端末で閲覧できるようになります。詳細はリンク先をご覧ください。

【2022年2月1日「個人向けデジタル化資料送信サービス」の開始について（令和4年5月19日予定）】

[https://www.ndl.go.jp/jp/news/fy2021/220201\\_01.html](https://www.ndl.go.jp/jp/news/fy2021/220201_01.html)

図書館は皆さんの学習・研究を応援しています。  
質問がありましたらお気軽にどうぞ。

外国学図書館 利用支援担当

メール：[tosyo-minoh-desk@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tosyo-minoh-desk@office.osaka-u.ac.jp)

電話：072-730-5126（平日9:00-17:00）

80

お疲れ様でした！

これで、外国学図書館の論文検索ガイドンスは終了です。お疲れさまでした。  
図書館は皆さんの学習・研究を応援しています。お気軽にご質問ください。